

学校のきまり

R7.4 滝川小学校生活指導部

●廊下階段 みんなが安全に気持ちよく校内を移動するためのルール

- ・安全に気をつけて右側を歩く
- ・教室移動など、大勢で歩くときは静かに2列で並んで歩く
- ・特別な事情があってエレベーターを使用したいときは先生に言って一緒に乗せてもらう

●休み時間の過ごし方 みんなが安全に楽しむためのルール

- ・遊ぶ前に次の授業の用意やトイレを済ませておく
- ・運動場か教室で安全に気をつけて過ごす(トイレ・廊下・階段・校舎裏・体育倉庫裏は遊び場所ではない)
- ・運動場では黄帽をかぶり、教室に戻る前に手を洗う
- ・ボールは決められた時間に決められた場所で使ってよい ※ボールは蹴らない
- ・雨が降っているときや赤コーンが出ているときは校舎内で過ごす
※教室に掲示してある「運動場使用のルール」も守る

●登下校 安全に登下校するためのルール

- ・登校は分団班で8時10分～20分に学校に着くように集団登校する(決められた道で登下校する)
- ・交通ルールを守ってまわりをよく見て安全に歩くようにする
- ・歩道や白線(路側帯)の内側を歩いて自動車や自転車、他の歩行者に気を付ける
- ・2列を基本として広がらないように気を付ける
- ・黄帽を正しくかぶる
- ・傘は正門の左右のスロープのところで、周りの人や物に気をつけて静かに閉じる(水しぶきをとばさない)

●美しい学校 みんなで使う学校を大切にするためのルール

- ・校舎や学校のことを美しく大切に使うように心がける
- ・靴底や汚れた手で壁を汚さないようにする
- ・給食を運ぶとき、汁などをこぼしてしまったときは、濡れ雑巾でふき取る
- ・運動場から校舎内に戻るときは、靴底をブラシマットでこすってから入るようにする
- ・校舎や学校のことを汚してしまったときはきれいにし、壊したときは先生に知らせる

●安全 安全・安心のためのルール

- ・放送の合図やインターホンの呼び出し音が鳴ったらすぐに会話をやめて静かにする
- ・窓から身を乗り出さないようにする
- ・様子が普段と違うと気づいたときはすぐに先生に知らせる
- ・登校したら、下校時間まで先生の許可なく校舎から出ない(早退は学校内で先生から保護者に引き渡し)
- ・下校後、学校に忘れ物をしたことに気づいても学校に取りに戻らない
(どうしても必要な場合は、学校に電話をしてから家の人と一緒に来る)
- ・放課後や休日に子どもだけで校区(地域)のそと(梅田・京橋・USJなど)に遊びに行かない
- ・「周りの人が困ること」「危険なこと」にならないかを考えて行動する

ルールを守ることがむずかしい特別な事情がある場合は、先生に相談しましょう

※事情により先生と話し合って特別なルールで学校生活を送る児童もいます。理解と尊重をお願いします。

●服装(標準服) 安全・清潔・健康・時と場に応じた服装のためのルール

ふだん 上 …標準服のカッターシャツ(無地の白ポロシャツでも可)、標準服の上着
※上着の下にベストやセーターをきてもよい。色は黒・紺・灰で上着からそでやすそがはみ出ないサイズのもの
下 …標準服のズボンかスカート
靴下…白。黒や紺色でもよい
名札…学校の中では、左胸に校章のついた名札をつけ、下校前にはずす
上着を脱ぐときは、外側になる服(ベストやシャツ)に名札を付け替える

登下校 ・気温にあわせて手袋・マフラーをしてもよい(安全には十分に気を付ける)
・体調により、ジャンパーを着用したり、使い捨てカイロを持ってきたりするときは、
おうちの方に連絡帳に書いてもらう
・登下校時は、標準服が一番外側になるようにして(ベストやセーターが外側にならない
ようにして)黄帽をかぶる

くつ 着脱しやすく動きやすいもの
・下靴の色は白が望ましいが、ファッション性の強いものでなければよい
・校舎内は上靴、体育館(講堂)は体育館シューズ
・上靴は毎週末、体育館シューズは学期末に持ち帰り、清潔を保つ

式るとき 標準服の上着(1学期終業式と2学期始業式は上着不要)、白い靴下

髪型 髪型について特に決まりはないが次の点に気を付ける
・帽子(黄帽・赤白帽・白衣帽・水泳帽)を正しくかぶれるようにする
・マット運動や火を使う実験・実習など、多様な学習活動に対応できるように気を付ける
・学習・学校生活の妨げになるような髪飾りをつけない
・清潔と健康に気を付けて、髪を染めないようにする

体育 標準服の体操服(寒い季節は、ウォーミングアップ終了までは上着かセーターを着てもよい)
※名札は安全のために外すこと
体操服の下に肌着を着てもよいが、体育後に着替えられるように替えの物を用意する

その他 ・肌着が外から見えないようにする
・衣替えの期間は決まっていない
・身だしなみは安全や清潔に気を付けて、学習や学校生活に不要なものをつけないようにする

●持ち物 落ち着いて学習するためのルール

- ・学校生活に必要なもののみを持ってくる。不要なものは持ってこない
- ・持ち物には必ずはっきりと名前を書くようにする
- ・ペンは学年に応じて最小限にする(シャープペンを持ってこない)
- ・水筒の中身はお茶か白湯のみで、他人にあげない・もらわない
- ・図書館にあるような本であれば、休み時間用に2冊まで持ってきてよい